

人権教育コーディネーター養成講座

研 座 演 沙 資 映 他 体 7

福岡県教育委員会
福岡県教育委員会教育振興部人権・同和教育課
TEL 092-643-3918

実施年月日 実績等	第1回 平成16年 5月28日(金) 第3回 平成16年 9月 8日(水) 第5回 平成17年 2月10日(木)	第2回 平成16年 7月23日(金) 第4回 平成16年12月14日(火)
主催(共催)	福岡県教育委員会	
開催場所	福岡県人権啓発情報センター	
対 象	市町村職員および社会教育関係団体役員等	
人権課題	人権全般	

事業の目的

すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、広く人々の人権問題に対する理解と認識を深め、差別意識の解消を図るために、人権に関する学習活動を企画・立案する人権教育コーディネーターを育成する。

事業概要

- 県内の市町村から受講者の推薦を受け、受講者を決定する。
- 受講者は、5回連続で講座を受講する。
- 各講座は、終日で実施。午前中は、県内外から講師を招聘し講演を行い、午後は、体験的参加型学習に関する演習を行うことを基本として実施している。
- 最終的には、参加者同士でグループを編成し、各グループごとに設定した人権課題を解決するための体験的参加型の手法を活用した学習プログラムを作成する。

第1回

- 講座①「人権教育・啓発についての基本認識」
- 講座②「福岡県人権教育・啓発基本指針について」

第2回

- 講座①「福岡県における人権啓発の成果と課題」
- 講座②「体験的参加型学習による人権教育・啓発の実際」

第3回

- 講座「体験的参加型学習の演習」

第4回

- 講座①「福岡県における同和問題の課題」
- 講座②「体験的参加型学習プログラム作成」

第5回

- 講座①「体験的参加型学習プログラムの発表および指導・助言」
- 講座②「人権啓発活動における体験的参加型学習の活用」

特色・工夫した点

- 地域の指導者養成を目的とする事業であるため、市町村から受講者の推薦を受けている。
- 学習活動を企画・立案するための実践的な理論、技能の獲得につながる内容としている。
- 過去の受講者を講師に招聘(第2回の講座②)し、現在の活動等を含めた話を聞くことで、受講者により具体的な目標を把握できるようにしている。

実施結果

参加者の反応・事業の反響等

- 本事業は、平成12年度より実施しており、これまでの受講者は230人にのぼっている。
- 国レベルで活躍している講師、県内の人権・同和教育の推進に深く関わってきた講師からの講演や演習は、国内外の人権教育の潮流を踏まえた取り組みや地域の実情に応じた取り組みの方向性等を示唆するものであり、受講者からは、「人権・同和教育の担当者としての認識が深まった」という感想が出されている。
- 体験的参加型の手法を活用した人権に関する学習活動の企画、立案の方法が、具体的な演習を通して身に付いたという感想が出ている。
- 毎年度、計画的に受講者を推薦する市町村がある。

反省点・今後の課題

- 5回の連続講座としては、内容が多く、内容の精選等を含めより効果的な研修となるよう工夫する必要がある。
- 受講者が、受講後に地域で活躍している場合と活躍の場を十分持ちえてない場合とがある。
- 結果として、受講者個人の研修で終わっているような場合も見られ、より一層事業の成果が普及するような工夫が必要である。